

池田町の歴史探訪



第10回 池田町の道祖神を訪ねて

中島 牛越邦夫

池田町の石造文化財は、馬頭観音の約500体を筆頭に道祖神、庚申塔、常夜燈、文学碑など35種類約1400体が確認されています。今回は石仏の代表的と云われる、道祖神について探訪してみました。

町には74体の道祖神

像碑、文字碑合わせて74体があります。地区別にみると広津26、会染23、陸郷11、池田11、中鶴3と主に街道筋に祀られています。

部落単位ではなく74の道祖神仲間（講）が現在も続いています。



（八幡神社の文字碑 安政2年）

道祖神は道陸神「どうろくじん」と呼ぶところが多く、道祖神（ふないのかみ）、塞の神（さいのかみ）、道ちまたの神、障の神（さわいのかみ）、手むけの神（たむけ）、幸の神（さいのかみ）道の神、坂の神、性の神など数多の呼び名があり、古くから信仰されていた神です。

安全・縁結び・和合・耳・農耕など、なんでも願うことが出来る神として大事にされてきました。特に村・部落境の道端に祀られ、旅人の安全を守り、村へ悪疫の入るのを防ぐ「道の神」されているの

が一般的です。

像碑（63体）には、男神女神が肩を抱き合う抱擁像、寄り添い手を握る握手像、徳利と杯を持つ祝言像などほほえましい姿が多く、微笑みを浮かべている表情に親しみを感じます。文字碑（11体）はどれも達筆で、見事な書が彫られています。



きはぎ屋根の屋ヤス相道寺道祖神

帯代35両の添彫り

池田の道祖神には帯代の添彫りのあるものが16体あります。金額は1両〜100両、5両〜1000円（明治以降に後彫りしたものと思われる）とまばらですが、当時としては相当高額です。

他部落から道祖神を迎えると幸せが訪れるとして、半ば公然と盗みが行われたため「盗んでもいいが代償を支払

え」という意味です。道祖神を背負って運んだので、そのように言い回したのでしょう。

しかし「酒代」という表現もあり、罰金の性格よりも「結納金」と思った方がいいのかもしれない。写真の文字碑の底部に35両と彫られています。

道祖神の彩色

道祖神の彩色は池田にもいくつか見られますが、古いもので今は行われていません。年に一回道祖神祭りの時に、お化粧をしてやり盛装をして、祭りに参加してもらおうという考えで彩色したと云われています。

三九郎と道祖神祭り

正月の松飾などを集め、三本の櫓を立て飾り付けて焼く、子供の行事の三九郎（おん弊焼・どんど焼という所もある）は、道祖神仲間で行われています。三九郎の焚火で餅を焼いて食べれば風邪をひかない、歯を病まないと家族

全員で食べました。燃えが良ければその年は天気がよく、悪ければ雨が多い。煙が北にたなびくと不作、南にたなびくと豊作と占ったそうです。道祖神祭りの日は、それぞれの仲間が決めています。

道祖神に込める思い

人々は最も身近な願いを聞いてくれる神様として、「旅が安全でありますよう」「村や町に悪い病気や悪霊・邪鬼が入ってこないよう」「五穀がよく実って、暮らしが豊かになるよう」「よい縁に恵まれ、夫婦がむつまじい、家が安泰で子孫が繁栄するよう」と道祖神に祈ってきました。

この思いは他の石仏にも共通しますが、人々の営みの中はずっと続くでしょう。

参考文献

池田町の歳時記

仁科宗一郎 著

北安曇の道祖神 牛越嘉人 著

6月スーパー「ツルヤ」開店 周辺道路の安全対策を！

この6月に、1丁目南地域にスーパー「ツルヤ」が開店します。建設に向けて整地が急ピッチで進められ、周辺道路の整備も行われています。

どういう店舗ができるのか、役場でお聞きしました。計画によると敷地は約2万1832㎡で、総合日用品販売店舗のツルヤ本体（平屋建て、南側）と、ドラッグストアや100円ショップ、生花店、菓子店などが入るテナント棟（北側）ができるそう

で、理美容店が入る計画もあるとのこと。周辺の道路拡張工事費用は町で負担します。用地西側道路は西町川に蓋をして広くし（実施済み）、北側道路は西県道まで拡張工事（実施中）を行います。

シルバーカーを押して買い物に行く高齢者の安全確保が課題ですが、町でも対策が必要なことは認識し、検討しているとのことでした。

年配の方がシルバーカーを押して行く目線で、県道大町明科線をツルヤ予定地まで歩いてみました。

- ① 3丁目信号からゆつくり歩きで25分かかった。
- ② 歩道は左右とも、90cmしかないところが半分近くある。
- ③ シルバーカーのすれ違いは困難か。
- ④ 歩道中央部分に盲人用誘導ブロック（破損している所も



急ピッチで整地が進む現地

部内資料

発行責任者 太田 勅 (62-5727)
議員連絡先 うすい孝彦 (62-5093)
服部 久子 (62-4357)
編集責任者 山本 久子 (61-1066)

184号

2017年2月

日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース
あした天気にな〜れ

コラム 有明

就任後一ヶ月のトランプ大統領、発する大統領令のみならず言動も、閣僚や候補についても辞任・辞退が生まれ、国内はもちろん世界的に混乱を拡大させている▼大統領の言動に日本はすぐに反応、経済界は米国内の雇用拡大に貢献している。今後も」と発言、安倍首相をはじめ防衛大臣などは「日米同盟第一」として「日本の軍力強化」をと明言。従属以外の何物でもない▼安倍首相が大統領と抱擁したからだろうか、会談では大統領選のさなかにあった日本に対する要求は出ず、ゴルフまで興じる親密さ。ほかの国への対応と比べ、何と見たらいいのか▼大統領の今後の出方もだが、問題なのは要求されないのに日本側から軍力を増強し経済も貢献する姿勢を見せたこと。5兆円を超える軍事費は世界で上位に入る規模。そんななかでうなずけることも▼政府は軍事応用が可能な基礎研究の応募を大学に求め、今年6億円の予算を来年度は18倍の110億円に拡大。こうしたことに学者の最高機関日本学術会議は、政府の介入度が大きいと懸念、全大学に「応募は慎重に」と良心を示した。信大は応募見合わせを決めている。